

# 数学

東北大学

経済学部 (文系)

(後期)

## <全体分析>

試験時間

100 分

解答問題数

4 題

### 解答形式

記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**)

### 出題の特徴

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

**1**・**2**は経済学部 (理系)・理学部の**1**・**2**と共通の問題。

**1**で(1)において答えのみを書かせ、(2)でそれについて証明させる問題が出された。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
<b>1</b>	整数	数A	1次不定方程式が整数解をもつための必要十分条件と整数解を求める。	やや易
<b>2</b>	空間ベクトル 微分	数B 数II	円錐の体積の最大値を求める。	やや難
<b>3</b>	図形と方程式	数II	(1) 実数定数 $a$ の変化によらず常に放物線 $C_a$ と接する直線の方程式を求める。 (2) $C_a$ の通過領域を求めて図示する。	やや難
<b>4</b>	場合の数 数列	数A 数B	(1)(2) 文字列の個数についての漸化式を作る。 (3) 数列の隣接2項間の大小を比較する。	難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

年度によって問題やセット全体の難易度が大きく上下動することがあるが、そこには惑わされないようにしたい。まずは教科書や傍用問題集で各分野の基礎をしっかりと固めた上で、標準～やや難のレベルで問題演習を重ねよう。

また、出題範囲の全ての分野に勉強の手を広げ、穴となる分野がないようにしたい。加えて、場合分けや数え上げを多く要する問題や、文字計算の多い問題、計算量の多い問題にも積極的に立ち向かい、1題1題を最後まで解き切ることを意識して取り組みたい。